

平成 29 年度 施策評価表

施策	1702	新幹線を活かしたまちづくり	施策推進担当部	都市整備部
施策の方針	九州新幹線西九州ルート of 整備を促進するとともに、まちづくりの拠点となる新幹線新大村駅（仮称）周辺や車両基地周辺の整備を進め、観光やビジネスなど多様な交流を推進する。			

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 新幹線新大村駅（仮称）周辺整備事業の進捗率	%	0.5	6.0 5.0	38.0	57.0	75.0	89.1	83.3%	5.6%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明
 新幹線新大村駅（仮称）周辺整備については、自由通路及び在来線乗換駅の概略設計等を行うとともに、平成28年10月には、土地区画整理事業区域内の住民の合意形成を図り、県の認可を取得した。また、車両基地周辺地区についても、新たに整備する車両基地駅（仮称）の駅前広場等の予備設計を行った。新幹線の整備については、鉄道運輸機構等との関係機関と連携を図りながら整備促進を図るとともに、広報誌やホームページ等により広報活動を行った。平成34年度の開業に向け、まちづくりの拠点となる新幹線新大村駅（仮称）周辺や車両基地周辺の整備事業は補正予算対応等により実績値ポイントの達成までには至らなかったが、順調に進捗している状況である。

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	349,353	3,581,191	2,854,862	
	国庫支出金	37,282	1,322,917	1,310,767	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	195,200	1,966,300	1,363,700	
	その他	0	32	0	
	一般財源	116,871	291,942	180,395	
	人件費	90,563	108,493	-	
	フルコスト	439,916	3,689,684	-	

施策の概要

170201	新幹線の整備促進	九州新幹線西九州ルート of 開業に向け、関係機関や関係自治体と連携しながら、着実な整備を促進します。
170202	新幹線新大村駅（仮称）周辺の拠点の形成	新幹線新大村駅（仮称）周辺の基盤整備を行い、高い交通利便性を活かして、企業誘致や定住促進等に取り組みます。また、車両基地の整備に伴い、周辺部への関連企業の誘導を図るとともに、新たな観光資源として活用するなど、立地を活かした取組を進めます。
170203	多様な交流の促進	九州新幹線西九州ルート of 開業に向け、魅力的な観光地づくりなど、受入体制の整備に取り組むとともに、ビジネスや学術など、多様な交流活動を促進するため、積極的な情報発信に努めます。

【CHECK（評価）】

施策を達成する上での問題点・課題	現在、平成34年度開業に向け、ハード整備は着々と進みつつあるが、新幹線を最大限に活かしたまちづくりに結び付けていくためには、官民が一体となった機運醸成への取り組みや、魅力的な新大村駅前となるための民間企業の誘致及び交通結節点としての2次交通・3次交通の充実が課題である。
------------------	---

【ACTION（改善・改革）】

問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方	現時点においても、九州新幹線西九州ルート of 明確な方向性が示されていない。平成34年度の算定開業で一定の効果が得られるにしても、本来目指すまちづくりには程遠いものである。このため、本来の目的である関西圏への直接乗り入れや早期の本格開業が実現するために、今まで以上に、長崎県、佐賀県及び沿線5市の官民が一丸となって、国に働きかけを行う必要がある。
--	--

平成30年度新規事業

事業名（仮称）	担当課	H30年度見込	対象・事業概要など
		事業費	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	

【評価調整委員会意見】

1	施策推進担当部意見のとおり	
<<特記事項>>		

【最終評価（都市経営戦略会議）】

1	評価調整委員会意見のとおり	
<<特記事項>>		